

(3) 地域子ども・子育て支援事業の推進

市町計画では、平成31年度末までに、量の見込みに対応する地域子ども・子育て支援事業の実施をめざして、確保方策を定めています。

県では、市町計画をふまえながら、国の補助制度等を最大限に活用し、市町に対して事業の実施に必要な経費等を補助するなどの支援を行うとともに、市町と連携して、人材確保・育成に向けた取組を進めています。

〔実施状況と計画との比較〕

事業名		実施が計画の確保を上回っている市町数	実施が計画の確保を下回っている市町数
		計画 \leq 実施	計画 $>$ 実施
延長保育事業（平成27年度実施状況調査より）		9	16
放課後児童健全育成事業		14	15
子育て短期支援事業（ショートステイ）		16	8
地域子育て支援拠点事業		24	5
一時預かり事業（幼稚園在園児対象）		4	16
一時預かり事業 （幼稚園在園児以外）	一時預かり事業（保育所等）	4	21
	ファミリー・サポート・センター事業（病児・緊急対応を除く）	6	18
	子育て短期支援事業（トワイライトステイ）	2	0
病児保育、ファミリー・サポート・センター事業	病児保育事業	1	19
	ファミリー・サポート・センター事業（病児・緊急対応強化事業）	9	3
ファミリー・サポート・センター事業（就学児）		11	14
利用者支援事業		12	10
乳児家庭全戸訪問事業		19	10
養育支援事業		12	17
妊婦に対する健康診査（平成27年度数値）		17	12

※実績には一時預かり事業（幼稚園在園児対象）とは別に、私学助成の預かり保育事業があります。

〔県による重点的な取り組み〕

ア 平成28年度 病児保育事業等の実施状況

病児・病後児の預かり（病児保育）については、病院・保育所等において一時的に保育するなどの病児保育事業と、ファミリー・サポート・センター事業として援助を行う会員の自宅で預かる病児・緊急対応強化事業があります。

病児保育事業に取り組む市町（広域対応を含む）数は18、ファミリー・サポート・センターの病児・緊急対応強化事業に取り組む市町（合同実施を含む）数は16となり、重複を除くと市町数は22となります。

○病児・病後児保育：18市町（広域対応を含む）

①病児対応型 施設設置市町 8市、実施市町 16市町（広域利用8市町を含む）

設置市町名	実施施設名	利用定員	広域利用対象市町
津市	津病児デイケアルーム「ひまわり」	6人	
四日市市	四日市市病児保育室「カンガルーム」	6人	
伊勢市	病児保育エンゼル	4人	明和町、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町
松阪市	医療法人おおはし小児科（アリス）	4人	多気町、明和町、大台町
桑名市	ウエルネス医療クリニック こどもケアハウスぞうさん	8人	
鈴鹿市	鈴鹿市病児保育室ハピールーム	6人	
志摩市	よいこ病児保育室	4人	鳥羽市
名張市	みらいのこどもクリニック病児保育室	3人	

※設置機関：すべて医療機関

②病後児対応型 施設設置市町 3市町、実施市町 3市町

設置市町名	実施施設名	利用定員	広域利用対象市町
津市	津病後児保育室「HUG」	3人	
伊賀市	伊賀市病児・病後児保育室「くまさんルーム」	3人	
菟野町	聖マリアこども園	3人	

※設置機関：津市は小規模保育事業、伊賀市は医療機関、菟野町は認定こども園、

○ファミリー・サポート・センター（病児・緊急対応強化事業）：

16市町（合同実施5町を含む）

津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、名張市、亀山市、熊野市、伊賀市、朝日町（木曾岬町）、玉城町（大台町、度会町、大紀町、南伊勢町）※（ ）は合同実施

平成28年度には、病院に加え、市町や社会福祉法人等が病児保育施設を整備する場合に活用できる、子ども・子育て支援整備交付金（病児保育）が創設されました。これにより公立・私立の保育所に併設する形で病児保育事業を実施しやすくなりました。

各市町子ども・子育て支援事業計画の中で、平成31年度までに確保の内容が需要を上回っていない市町があります。子ども・子育て支援整備交付金による基盤の整備や、病児・病後児保育広域対応支援事業費補助金（県単補助）による広域利用への支援を活用して、確保の内容を検討されるよう市町へ働きかけを行っています。（【別紙】「病児保育の推進について」参照）

イ 放課後児童対策の促進

（ア）放課後児童クラブと放課後子ども教室の実施状況

放課後児童クラブ・放課後子ども教室を設置する小学校区の割合は、前年度に比べ、1.2ポイント上がりました。

○平成31年度までの目標：93%

- ・平成27年5月1日現在 337校区／372校区 90.6%
- ・平成28年5月1日現在 338校区／368校区 91.8%

（イ）放課後児童クラブの待機児童数

待機児童数は、放課後児童クラブの創設等により、30人減少しました。

（待機児童数）

- ・平成27年5月1日現在 10市町 86人
- ・平成28年5月1日現在 7市町 56人（30人減）

（放課後児童クラブの創設、改築等状況）

- ・平成27年度 4市4クラブ
- ・平成28年度 8市8クラブ

（津市、松阪市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、志摩市、伊賀市、玉城町）

（ウ）ひとり親家庭の利用料支援の状況

ひとり親家庭の利用料支援に取り組む放課後児童クラブに対して支援するため、平成27年度から補助制度を設けています。この補助制度を活用する市町が増加し、事業対象人数も増加しています。

- ・平成27年度 17市町623人（149クラブ）
- ・平成28年度 20市町934人（205クラブ）